



Compass



2020(令和2)年6月5日(金)

No.7

高校生活入門講座・学校説明会・体験入学等の参加について

進路を選ぶときに、どの学校、どんな学科が自分にもっとも適しているか、迷いますよね。そこで、高校や高専などでは、中学校3年生やその保護者を対象に、学校の様子を実際に自分の目で確かめ、理解を深めてもらうために、「学校説明会」や「体験入学」を実施しています。インターネットやパンフレット等でもいろんな情報を得ることができますが、実際に見たり、体験したりするのはとて大きな違いがあります。体験入学をすることで、その学校の雰囲気や特色、自宅からの通学手段・時間を確認することもできます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の開催日程等については各高校が現在検討しています。自分が3年間過ごす学校を選ぶためのものなので、入門講座等が開催される場合は参加を検討してください。



Seeing is believing! : 百聞は一見にしかず

◆申込の手順

～高校生活入門講座・学校説明会・体験入学等の申込手順について～

- (1) 進路通信や掲示物等で実施内容および日時・申込方法等を確認する。
- (2) 参加希望者は本人が担任に申し出て、「参加申込書」を受け取る。
- (3) 必要事項を黒のボールペンで記入し、保護者の印をもらって、担任へ提出する。
高校側独自の申込書《希望講座等》も必要があれば併せて提出する。
- (4) 必要に応じて事前指導を受ける。申込書(本人控え用)を受け取る。
- (5) 参加後「参加報告用紙(申込書裏面)」を担任へ提出する。

※ 注意: 高校の申込締め切り日と校内締め切り日が違うので注意してください。校内での申込締め切り日時を過ぎた場合、申込は受け付けません。

◆参加にあたっての10の心得

- ① 学校案内等で、どんな学校なのかを調べた上で参加しよう。
- ② 調べたいこと、聞きたいことなどをはっきりとさせ、目的を持って参加しよう。
※ 自分が志望している学校ではないのに、友達とのつきあいで参加する・・・といった形で参加してはいけません。いろいろ準備して待っている高校側やその学校を志望している人にとっても失礼になります。
- ③ 服装や言葉づかい・態度をしっかりとしよう。
※ たった一人の言動が、創徳中学校の生徒全員の印象を良くも悪くもしてしまいます。そして何より、高校側も参加する生徒の様子をしっかりと見えています。自分のがんばりたいという気持ちをしっかりと伝えることができるように、自覚を持ち、責任ある言動をとってください。

- ④ 時間に遅れると印象を悪くするので気をつけよう。
- ⑤ 上履き・筆記用具・身分証明書・指定された物を確認して持参しよう。
- ⑥ 安全面（行き帰りの交通安全）に十分注意しよう。
- ⑦ 到着したら、受付場所を探して、そこで受付を済ませよう。
- ⑧ 移動は速やかに静かに行き、施設設備をむやみにさわらないようにしよう。
- ⑨ 説明をよく聞き、わからないところは遠慮なく質問しよう。
- ⑩ 説明会後は申込書裏にある参加報告を記入して担任に提出しよう。

申込用紙について

高校生活入門講座、学校説明会、体験入学 参加申込書（学校提出保管用）	
提出日 2020年 月 日	
3年 組 席 生徒名	保護者名
() 高校の説明会・体験入学に申し込みます。	
体験日時 () 月 () 日 () 曜日 () 時 () 分	
保護者の参加 あり → 参加保護者名 ()	(○をつける) なし
備考らん 学科やコース選択の希望など参加申込みに必要な事項を記入してください。	

必要事項を確認して、記入してください。黒のボールペンで記入しましょう。

保護者のハンコが必要

学校提出用

高校生活入門講座、学校説明会、体験入学 参加申込書（本人控え用）	
3年 組 席 生徒名	
() 高校の説明会・体験入学に申し込みます。	
体験日時 () 月 () 日 () 曜日 () 時 () 分	
保護者の参加 あり → 参加保護者名 ()	(○をつける) なし
備考らん 学科やコース選択の希望など参加申込みに必要な事項を記入してください。	

皆さんの控えです。

提出用と同じ内容を記入しましょう。

「百聞は一見にしかず」の続きは..?

「百聞は一見にしかず」は、漢詩の故事からなっており、故事には、「百聞は一見にしかず」以降の文章については記載されていません。追記文は後世に伝聞されたものだと思われま。

百聞は一見にしかず（いくら人から聞いても、自分で見なければ本当のことは分からない）

百見は一考にしかず（いくらたくさん見ても、考えなければ前に進まない）

百考は一行にしかず（どんなに考えても「行動」を起こさなければ前には進まない）

聞く→見る→考える→行動する ということですね!